

オーストラリア乳業 環境への配慮

THRIVE
TOGETHER
WITH AUSTRALIAN DAIRY



オーストラリア乳業は、未来の世代のために人と地球を守る役割の一端を担っていると認識しています。業界は10年以上前に、より健康な世界のために栄養価の高い乳製品を提供することを約束しました。

Australian Dairy Industry Sustainability Framework
(オーストラリア乳業持続可能性枠組) は世界初の取り組みであり、国連の持続可能な開発目標およびグローバル乳業持続可能性枠組に合致しています。枠組の導入以来、オーストラリア乳業は、持続可能な乳生産において世界をリードする存在となっています。

枠組の導入以来、オーストラリア乳業は、持続可能な乳生産において世界をリードする存在となっています。

この枠組は、4つの重要なコミットメントを軸に構成されています：

- 経済性・生計の向上
- 家畜のために最良のケアを提供
- 人々と地域社会のウェルビーイングの向上
- 環境負荷の低減

環境負荷を低減する世界的な運動の一環として、オーストラリア乳業界は、環境の健全性と高品質の乳製品に不可欠な4つの主要目標に尽力しています：

- 土地管理の改善
- 水利用効率の向上
- 温室効果ガス排出強度の低減
- 廃棄物の削減

これらの目標を達成するためのプログラムはサプライチェーン全体に及び、私たちの活動は定期的な追跡調査と測定によって支えられています。これらの情報は毎年、私たちのホームページ dairy.com.au/sustainability で発表されます。

土地管理の改善

オーストラリアの酪農家は土地の管理者であり、未来の世代のために土地を守ることに尽力しています。これには農場内の動物や植物の多様性を守り、水路を整備し、土壌の健全性を向上させることが含まれます。

デーリーオーストラリアは、ビクトリア州環境保護局などの主要組織と連携して酪農家に研修を提供することで、環境に関するベストプラクティスの導入を促し、業界がオーストラリア固有の自然環境を保護する役割を果たすことを確実にします。

事実

82%の酪農家が生物多様性行動計画を文書化し、実施しています。

2030年までに酪農家の100%が土壌管理計画を実施することを目標としています。

水利用効率を高める

水は農業にとって極めて重要な資源です。水をより効率的に使用することは、自然環境を保護し、未来の世代に栄養価の高い食料を提供することを可能にします。

酪農家やメーカー各社は、水の生産性の向上、水使用量の積極的な監視、再生水の利用、水セキュリティ管理計画の策定などにより、水使用効率の向上を目指しています。

事実

Dairy Manufacturers Sustainability Council (乳業メーカー持続可能性評議会) (DMSC) のメンバー企業は、水の消費量と廃水データを測定し、報告やベンチマーキングのために提出しています。

酪農家の75%が搾乳場で使用する水を再利用しています。

事例紹介



環境再生型農業

環境再生型農業の実践は、保護と再生を農業システムの中心に据えるものです。

ビクトリア州の Doolan Farms は、農家が行う投資と同額を補助する州政府の制度を利用して、農場レベルのさまざまな取り組みを実施しました。その結果、家畜の保護と生物多様性の育成を目的とした1000本の原生樹木の植樹、ソーラーパネルの設置、干ばつ対策用の200メガリットルの集水ダム、複数種の作物への切り替えなど、農場の改善を行うことができました。その結果、土壌の品質向上や自然生態系の保護に貢献するだけでなく、操業コストの削減も実現しました。Doolan Farms は、このような取り組みを実践している多くの農場の1つです。チームは、環境再生型農業の実践を促進するために、他の生産者と学びを共有することを続けています。

事例紹介



より優れた灌漑

The Smarter Irrigation for Profit (利益のためのより優れた灌漑) プロジェクトは、より効率的に水を使用することにより生産性と利益を向上させることを目的としています。

この連邦政府出資のプロジェクトは農業部門全体が協力するものです。このプロジェクトでは、自動灌漑システム、センサー、灌漑スケジュール作成を改善するための高度な分析、水の蒸発を抑える戦略など、新しい灌漑技術の研究、開発、導入に注目しています。初期試験に参加した酪農場では、節水の改良と実践を導入した後、牧草生産量が平均11%向上し、総生産水使用量指数 (GPWUI) も10カ所で平均50%向上しました。

温室効果ガス排出強度の削減

オーストラリア乳業界は、2015/16 年を基準とし、2030 年までに業界全体で温室効果ガス (GHG) 排出強度を 30%削減する目標を掲げています。

デーリーオーストラリアの気候変動戦略 2020-2025 は、気候に基づく課題への適応、低排出強度の維持、行動の定着、温暖化を 1.5 度以下に抑えるための取り組みへの投資など、部門全体を対象としたアプローチです。

事実

オーストラリアの乳業メーカー各社は、2010/11 年から 2020/21 年の間に GHG 排出強度を 25.5%削減しました。

94% の酪農家が農場での排出量削減のために何らかの対策を実施しています。

2021 年、オーストラリア乳業界は、2050 年までにオーストラリア経済全体で炭素ネット・ゼロ (条件付き) という全国農業者連盟 (NFF) の方針を採用しました。これは政府の取り組みとも合致しています。

廃棄物の削減

オーストラリア乳業界は包材廃棄物、プラスチック、食品廃棄物を含む廃棄物の削減に取り組んでいます。

オーストラリア乳業は国家的な包材目標の一環として、2025 年までに包材の 100% をリサイクル可能またはコンポスト可能、再利用可能にすることに取り組んでいます。The Dairy Sustainable Packaging Roadmap (乳業持続可能な包装に関するロードマップ) は、the Australian Packaging Covenant Organisation (オーストラリア包装規約機構) (APCO) と共同で作成され、業界がこれらの目標に向けて前進するのを支援するものです。

業界の Dairy Sector Food Waste Action Plan (乳業部門食品廃棄物行動計画) は、サプライチェーン全体における乳製品食品廃棄物の透明性を高め、この廃棄物問題に業界が協力して取り組むための道筋を提供するものです。

事実

2020/21 年、DMSC (乳業メーカー持続可能性評議会)メンバー各社は、平均して前年度比で 6.5%の廃棄物埋立量の削減を実現しました。

オーストラリア乳業界は、2030 年までにすべてのサイレージ包材をリサイクルすることを目標としています。乳業界は、2030 年までに食品廃棄物を半減させるという目標を掲げています。

事例紹介



家畜由来のメタンガスの削減

飼料にいくつかの添加物やサプリメントを使用すると、家畜のメタン排出量が減少することが示されています。

例えば、オーストラリア原生種の red macroalgae (赤色大藻)は、肉牛から排出されるメタンを最大 80%削減しました。オーストラリアの酪農家はメタン排出量を減らすために、牛の通常の飼料に綿実、醸造用穀物、低温圧搾カノーラ、ホミニーミール (挽き割りトウモロコシ)、ブドウの搾りかすを補充する、小麦を多めに入れるなどの試みを行っています。また商業用酪農場で海藻を飼料に使用する試験や投与量、有効性、安全性を確立するための研究も並行して進められています。こういったアプローチにより、採用が早まると思われれます。

事例紹介



資金パートナーシップにより、課題解決に向けたメーカー各社のイノベーションを支援

Dairy Australia Technology Assessment (デーリーオーストラリア技術評価) (DATA) 制度は、Food Innovation Australia Limited (FIAL) との提携により、オーストラリアの乳業メーカー各社に対し新技術や業務の実行可能性を評価するための資金援助を提供しました。

これまでに、乳製品加工廃棄物のバイオエネルギーへの転換、高度な計測と監視によるエネルギーと水の使用量の改善と廃棄物の削減、高付加価値飲料にむけたホエイの発酵、牛乳ボトルの再生プラスチック含有率の増加などの技術が検討されています。

気候変動の影響の緩和と適応

気候変動への適応と回避のために、酪農家が現在農場で行っていること

段階的、変革的な適応

牛群縮小やフィードロット用気候対策施設など、気候変動の影響に農場システムを適応させるための短期・長期戦略の採用

農場の植生の向上

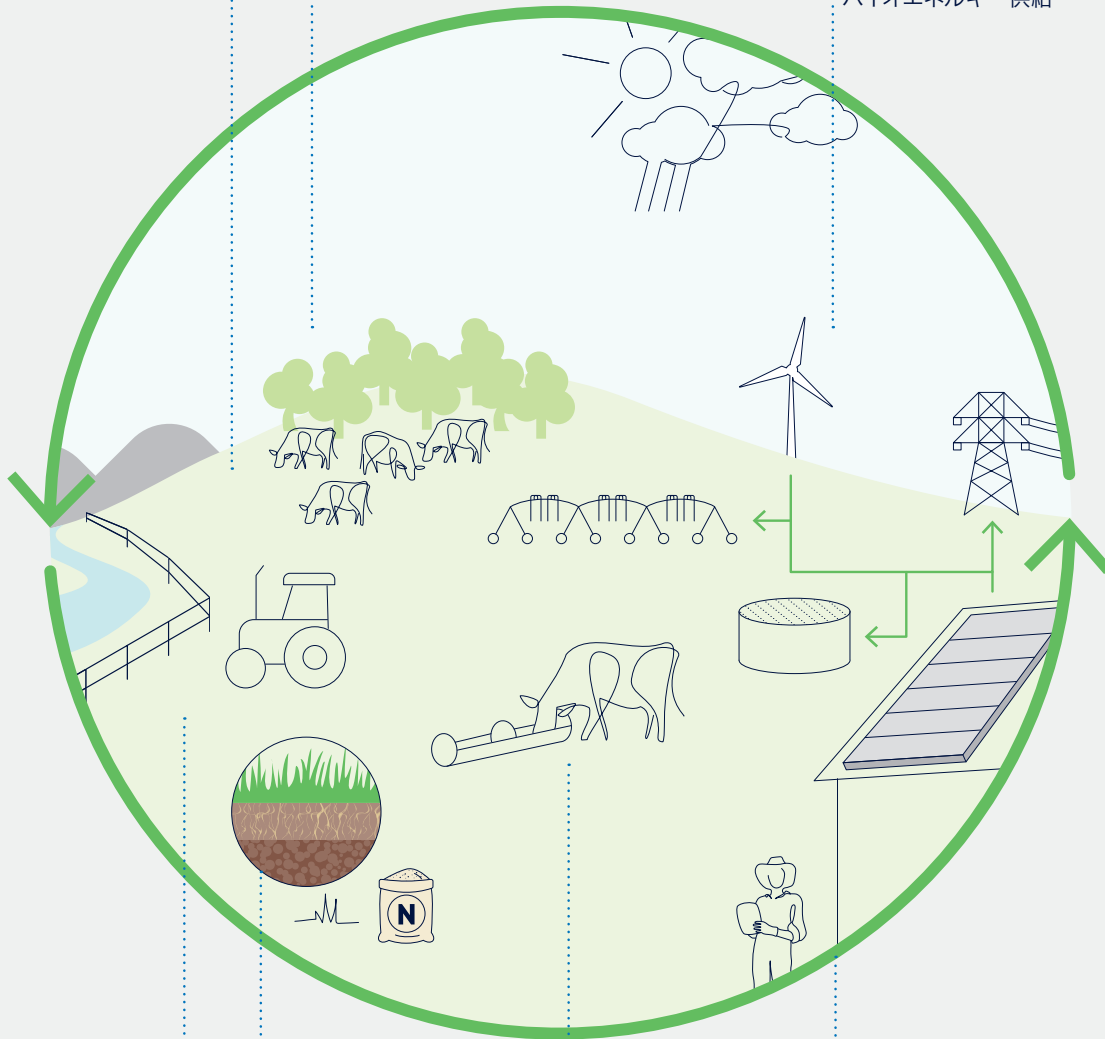
熱ストレスに対処するための日陰や避難場所を改善すると共に、炭素固定

異常事態への備え

嵐、火災、洪水、干ばつからの回復力

より賢明なエネルギー利用

エネルギー需要の削減、エネルギー効率の向上、農場での再生可能エネルギー/バイオエネルギー供給



将来の代替飼料

利用できる土壌水分の変化や水ストレスの増大に対応した代替牧草の栽培

亜酸化窒素削減

窒素肥料の使用に関する新技術と農場での慣行改善により亜酸化窒素を削減

腸内メタンの削減

低メタン遺伝子の育成、高品質飼料・給餌・ワクチンによる反芻機能の向上

良い経営管理

気候リスクへの備えと適応のための技術と研修

詳細情報

さらなる詳細については、dairy.com.au/sustainabilityをご参照下さい。

免責事項

本文書の内容は、将来の事例（乳業の業績やデーリーオーストラリアの取り組みなど）に関する記述を含め、作成時にデーリーオーストラリアが入手した情報に基づいたものであり、デーリーオーストラリアは本文書の内容に誤りや脱落がないことを保証するものではなく、本文書の使用または依存についていかなる責任も負わない。また本情報は個々の状況を検討して作成されたものではなく、発行日以降最新の情報でない可能性がある。したがって、本文書で提供される情報を使用または信頼する前に必ず自身で問い合わせを行い専門家の助言を得ること。